



アイテム しごとと探検隊

25th

アイテムしごと探検隊は「しごとの素晴らしさを伝えたい」という
私たちの思いから始まりました。
実際の職場に足を運び、そこで働く人の話を聞くことを通して、
しごとの大切さ、素晴らしさに出会ったり、
発見できることを願っています。

今回の訪問先 りそな銀行

●隊員紹介(あいうえお順)●

青山さん(6年生) 井谷くん(5年生) 甲斐くん(6年生) 里井さん(5年生) 下村さん(6年生)
高篠さん(6年生) 高田くん(5年生) 為井くん(5年生) 二反田さん(5年生) 早瀬さん(5年生)
藤崎くん(5年生) 森田さん(5年生) 山村くん(6年生)

今回の探検先は…

株式会社りそな銀行

りそな銀行は、あさひ銀行と大和銀行が合併して誕生した金融グループ。ラテン語で「共鳴する・響き渡る」の意味を持つ「りそな」の名の通り、お客さまの視点を大切にした「真のリテールバンク」を目指している。また、「新しいクオリティへ、新しいスピードで」のスローガンのもと、金融市場の動きに対応した、様々な金融商品を開発している。

●探検実施日:2012年8月28日(火)

探検のスタートは挨拶から

8月28日(火)、

13人の探検隊が、りそな銀行大阪本社ビルを訪れた。超高層の建物を見上げ、子どもたちの気持が引き締まる。今回は、大阪の経済を動かすビジネス街で、銀行の仕事について学ぶ。

まず最初に、お客さまをお迎えするときの挨拶や、きれいなお辞儀について教えてもらった。

「銀行での挨拶は、とてもきちんとしたものです。『いらっしゃいませ』『またお越しください』



続いて向かった応接室では、一億円を体験。重さ10キロの札束を抱えて、一人ひとり応接ソファに座ってみる。「すごく重い」「夢みたい」と声があがり、億万長者の気分をほんの一瞬味わった。

お金の役割と金融業務を学ぶ

2階の会議室では、大阪営業部の奥さんから、お金についての話を聞いた。お金がかかった時代、人々は物々交換をしていたが、段々うまくいかなかった。「どうしてだと思えますか?」との質問に、子どもたちが手をあげ「合わないから」と答える。物と物の釣り合いが合わせづらくなり、その代りの交換方法として、貝殻等が使われるようになった。これがお金の始まりだ。

そのお金を扱う銀行の業務は大きく3つに分かれている。白板に「預金業務」と書いた紙が貼られる。「通帳やカードを持っていきますか?」と問われ、ほぼ全員の手があがる。その預けたお金には利息がつくことも教わった。そして、銀行は預かったお

銀行の仕事って何だろう? お金の役割を学んだ子どもたち。

ませ』という感謝の気持ちを伝えてください』指導を受けて、つま先から約1メートルの所に目を落とし、背筋を伸ばしたまま、腰から上半身を軽く曲げてお辞儀をする。きれいにできれば、いよいよビル内にある店舗の入り口でお客さまのお出迎えだ。子どもたちは「いらっしゃいませ」と元気に声を出し、お客さまをお迎えする心を感じ取った。

貸金庫見学と一億円体験

次に、地下1階にある貸金庫に案内されると、高さ2メートル、厚さ70センチ、重さ15トンの鋼鉄の扉が目に見え込む。10時間の火災にも耐えるという扉を開き、貸金庫室に入ると、どの壁にも床から天井までぎっしりと金庫が並ぶ。

「貸金庫の数は1179個ですが、最後の番号は2233番になっています。どうしてかわかりますか? 実は4(死)と9(苦)の数字を使っています」

係の方から縁起の悪い数字を使わない習慣を教わり、子どもたちはお客さまへの細やかな気遣いを学ぶ。



金をただ保管しているわけではなく、必要とする人に貸し出している。これが2つ目の貸出業務。そして、最後は為替業務。離れた場所にいる人同士が、お金のやりとりをする方法を為替といい、銀行はお金を送る役割を担っている。余っている所から必要な所へ、お金を融通する金融のことを、子どもたちは少しずつ理解した。



「ゲーム」で学んだ社会の仕組み

最後に「ゲーム」で会社経営を疑似体験。3チームに分かれ、仮想の紙幣を資本金として会社を設立。1人ずつサイコロを振り、駒を

進め、止まった升目の指示に従う。「作った商品が大ヒット」して儲けたり、「古い設備」にお金を費やしたり、子どもたちは「喜一憂。新たな設備投資や、株、投資信託の売買を通じて、会社を成長させるためにどうすべきか」生懸命考えた。

最後に大切なメッセージをもらう。「未来の社会を動かすのは皆さんです。これを機会に、社会の動きに関心を持ち、経済を身近に感じてください」

アイテムに戻った子どもたちは、それぞれが学んだことを話し合い、1枚の紙にまとめた。銀行の役割を知り、経済について考える姿勢が少し芽生えたようだ。



感想コーナー

- 知らないことがたくさんあって、びっくりした。
- 色々むずかしいことがあったので、うれしかった。
- 銀行に体験に行くのはめったにないので、行けてよかった。勉強できてよかった♪
- 貸金庫のトビラが15トンもあるってきいたので、おどろいた。
- おじぎの練習をして、お客さまが笑顔で帰ったり、来てくれたりしてくれました。

りそな銀行 大阪営業部
奥 絵依美さん

私はメイン司会を担当することになっていましたので、開催当日まで緊張していましたが、子どもたちの「よろしくお願ひします!」という少し緊張しながらも元気の挨拶を聞いて、私たちが頑張ろうという気持ちになりました。銀行見学、銀行業務の説明、ゲームと詰め込んだ半日でしたが、「将来銀行員になってみたい」という感想を聞くことができ、少しはお役に立てたかなとほっとしています。私たちにとっても、新鮮で有意義な半日になりました。

●「アイテムしごと探検隊」ご協力のお願い

訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけませんか? お問い合わせはアイテムまで ☎0120-938-989

